

# 第1回 山国川緑地かわまちづくり検討会

日時：令和元年12月23日 午後7時～

場所：吉富町役場3階研修室

## 議 事 次 第

1. 開会
2. 挨拶
3. 検討会委員名簿
4. 議事
  - (1) かわまちづくり支援制度の概要
  - (2) 山国川下流地区かわまちづくり計画について
  - (3) ワークショップ形式による意見交換
5. 今後の予定
6. 閉会

## 山国川緑地かわまちづくり検討会委員名簿

敬称略 順不同

人 数	氏 名	備 考
1	釘崎 周二	有識者（応募者）
2	吉田 清勝	有識者（応募者）
3	向野 倍吉	商工会副会長
4	山本 哲士	まちづくり会社代表就任予定者
5	山口 数彦	太陽の会会長
6	梅津 常敏	太陽の会副会長(河川敷ボランティア世話役)
7	中村 博教	小学校教頭
8	花畑 寛典	中学校PTA会長
9	梅津 光文	小学校PTA会長、スポーツ推進委員会副会長
10	鍋島 虔一	有識者
11	恒成 正幸	有識者
12	田中 哲	有識者
13	林 孝俊	有識者
14	恒成 達也	有識者

### 【行政関係者】

国土交通省河川事務所：村田課長、橋本専門員

吉富町役場：花畑町長、守口総務課長、奥田企画財政課長、別府主幹、梅林主査、  
小原税務課長、永野住民課長、石丸健康福祉課長、赤尾産業建設課長、南係長、  
奥家会計課長、瀬口教務課長、梅林係長、和才上下水道課長、軍神係長、  
大分県中津土木事務所、中津市（観光推進課）

### 【その他】

国土交通省かわまちづくり計画受託コンサルタント2名

平成 31 年 3 月 8 日

水管理・国土保全局河川環境課



かわまち

## 新たな『水辺を活かしたまちづくり』が始動

### ～全国 22 箇所の「かわまちづくり」計画を新規登録！～

国土交通省では、水辺を活かして地域の賑わい創出を目指す取組“かわまちづくり”を促進するため、平成21年度に「かわまちづくり」支援制度を創設し、市町村等からの申請にもとづき計画の登録を行い、ハード・ソフト両面から支援を行っています。

本日、**市町村等から新たに申請のあった22箇所の「かわまちづくり」計画を登録**(別紙①～③参照)し、合計で213箇所となりました。

今回登録した計画のうち14箇所では、民間事業者と連携した水辺の賑わい創出を目指しています。

この取組に対し、国土交通省では、親水護岸などのハード整備のほか、河川空間にオープンカフェを設置するなど、地域のニーズに応じて河川空間の多様な利用を可能とする「都市・地域再生等利用区域」の指定を行うなどのソフト対策の支援を実施していきます。

#### 《 かわまちづくり 》

“かわまちづくり”とは、地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、地域活性化や観光振興などを目的に、市町村や民間事業者、地域住民等と河川管理者が各々の取組みを連携することにより「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かして地域の賑わい創出を目指す取組です。

#### 《 「かわまちづくり」支援制度の活用事例 》

##### 最上川水系最上川(山形県長井市)



「かわ」と「まち」をつなぐフットパスルートの創出を河川管理施設の整備により支援

##### 太田川水系京橋川(広島県広島市)



民間事業者によるオープンカフェ等の設置を「都市・地域再生等利用区域」の指定により支援

#### 添付資料

- |     |                |
|-----|----------------|
| 別紙① | 新規登録箇所一覧       |
| 別紙② | 新規登録箇所図        |
| 別紙③ | 各計画の概要         |
| 参考  | かわまちづくり支援制度の概要 |

#### 問い合わせ先:

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課  
 企画専門官 榎井 正将(内線35-432)  
 係長 吉村 謙一(内線35-433)  
 代表 03-5253-8111  
 直通 03-5253-8447  
 F A X 03-5253-1603

全国の実施は以下のホームページでも確認いただけます。

《 かわまちづくりHP: <http://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/machizukuri/> 》

ながい

# 長井地区かわまちづくり

題名:長井フットパス

～かわからまちへ、まちからかわへ～

- 推進主体:長井市かわまちづくり推進協議会
- 構成員:長井市、長井商工会議所、長井市観光協会、地域団体、NPO 他
- 対象河川:最上川水系最上川(一級河川)

## 【かわまちづくりの概要】

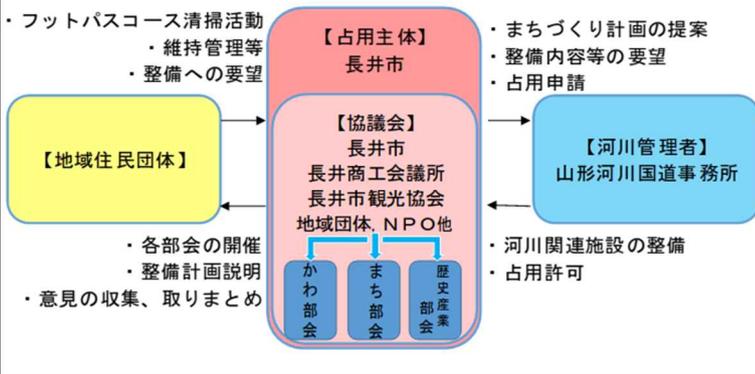
- ・ 長井市の特徴である「かわ」と「まち」を繋げ回遊性を高めるため、地域住民と連携を取りながら、全国の先駆けとなるフットパスを整備。
- ・ フットパスマップの作成など計画時から継続して地域が積極的に関わり、イベント開催やボランティアガイドの養成を進め、利用者数の増加、かわとまちの回遊性向上に寄与している。



## 【評価のポイント(審査委員コメントより)】

- ・ 舟運で栄えた長井市の特性を活かし、地元団体と民間事業者がうまく協力して事業を進めている。
- ・ フットパスにより「河川空間」と「まち空間」が連携し、さらにそれをつなげる役をボランティアガイドが担うことで、かわとまちの回遊性を向上させる取組が、際立って優れている。

## 管理運営体制図



図・写真:フットパスマップ(左下)とウォーキングイベントの様子(右上・中)。ボランティアガイドの様子(右下)。

問合せ先

長井市建設課

TEL:0238-87-0863

E-Mail:kensetsu@city.nagai.yamagata.jp

てんまがわ きゅうおおたがわ ほんかわ もとやすがわ  
**天満川・旧太田川(本川)・元安川地区**  
 きょうばしがわ えんこうがわ  
**及び京橋川・猿猴川地区かわまちづくり**  
 題名:水辺のオープンカフェ

- 推進主体:「水の都ひろしま」推進協議会
- 構成員:国土交通省・広島県・広島市、学識経験者、経済・観光関係団体、市民団体等
- 対象河川:太田川水系元安川・京橋川(一級河川)

【かわまちづくりの概要】

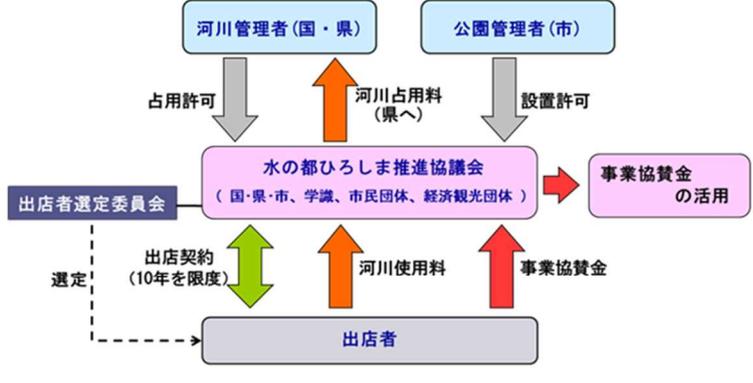
- ・ 河川区域における民間事業者による常設のオープンカフェとしては京橋川が日本で初めてであり、約15年の実績がある。
- ・ 出店者から預かる事業協賛金をカフェ周辺の環境整備に活用し、カフェへの誘客を図るとともに、地域の景観向上に還元している。



【評価のポイント(審査委員コメントより)】

- ・ 「まち」と「かわ」が一緒になって都市を盛り上げてきた長年の実績とともに、それが今なお継続され、まち側への波及効果をもたらしている。
- ・ 「民間事業者を協議会がプラットフォームとなり選定する」「得たお金を事業にまわしていく」というスキーム自体が全国のモデルとして、他地域にも波及している。

管理運営体制図



図・写真:京橋川(左下、右下)、元安川(右上)のオープンカフェの様子。提供される食事(右中)。

問合せ先

広島市経済観光局観光政策部 おもてなし推進担当  
 TEL:082-504-2676 E-Mail:kanko-omo@city.hiroshima.lg.jp

## 平成30年度「かわまち大賞」 審査委員会 開催概要

○開催日時：平成30年10月2日

○開催場所：国土交通本省会議室

### 1. 応募箇所

- 「かわまちづくり」支援制度には、現在、191件が登録されており、その中から今年度は、16件の応募がありました。

### 2. 審査委員会

- 審査委員会は、河川に造詣が深い、都市計画・エリアマネジメント・観光等の分野の有識者4名で行われました。

	氏名	所 属
委員長	陣内 秀信	法政大学 特任教授
委 員	楓 千里	(株)JTBパブリッシング エグゼクティブ・アドバイザー
委 員	中庭 光彦	多摩大学経営情報学部 事業構想学科 教授
委 員	保井 美樹	法政大学 現代福祉学部 人間社会研究科 教授

(五十音順、敬称略)

### 3. 審査結果

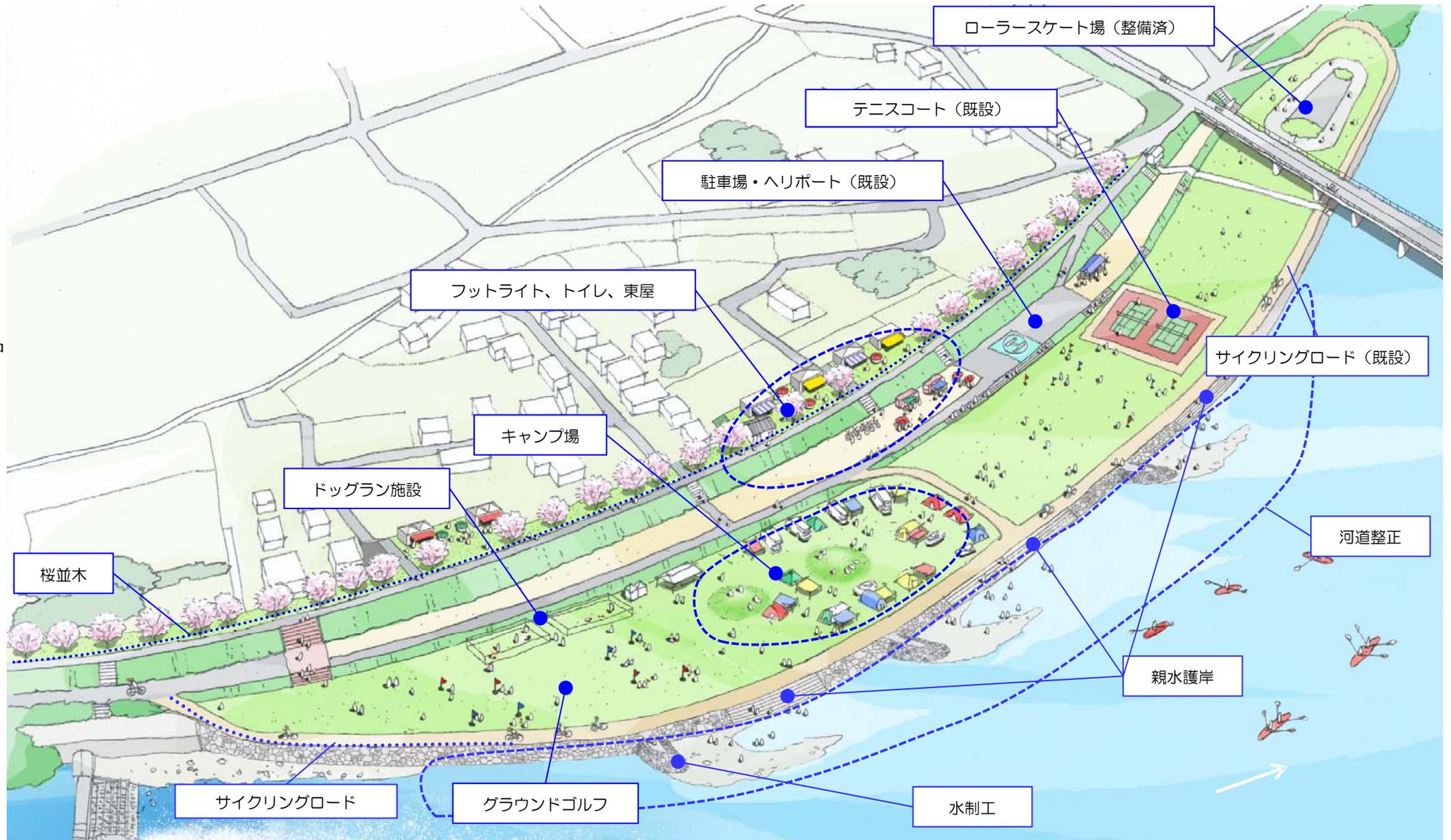
- 今回の選定にあたっては、今後の「かわまちづくり」の方向性を示すことを重視し、選定委員の総意により、2件が選定されました。

# 広津地区 整備イメージ (案①)



# 広津地区 整備イメージ (案②)

ー



ハード施策の個別整備計画書

1. 整備内容名

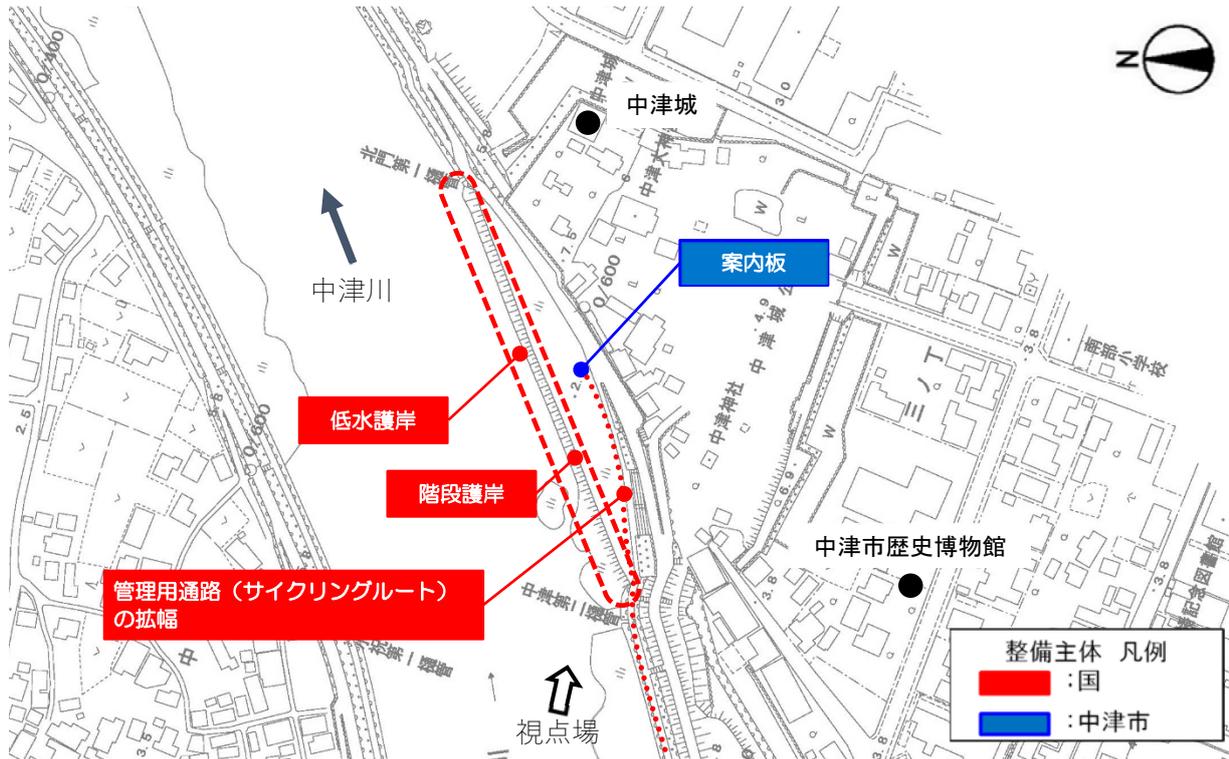
- ・ 中津城地区
- ・ 広津地区
- ・ 唐原地区
- ・ 管理用通路（サイクリングルート）

2. 整備概要

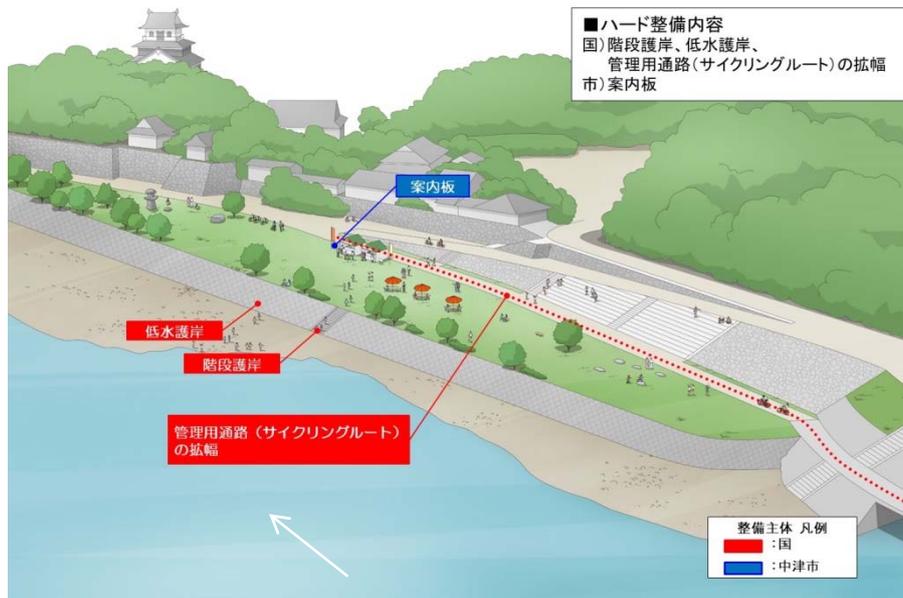
【中津城地区】

- ・ 整備箇所及び整備イメージ図

【整備箇所】



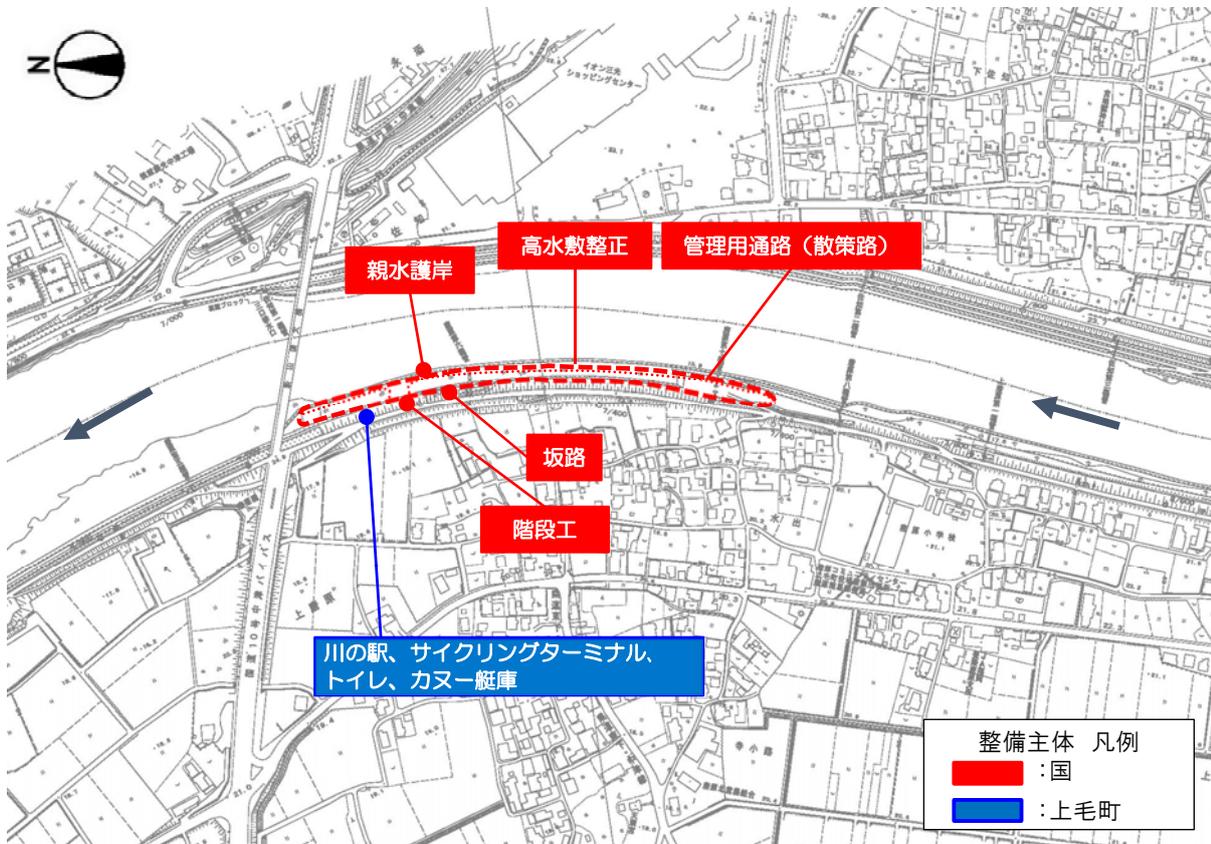
【整備イメージ（パース絵）】



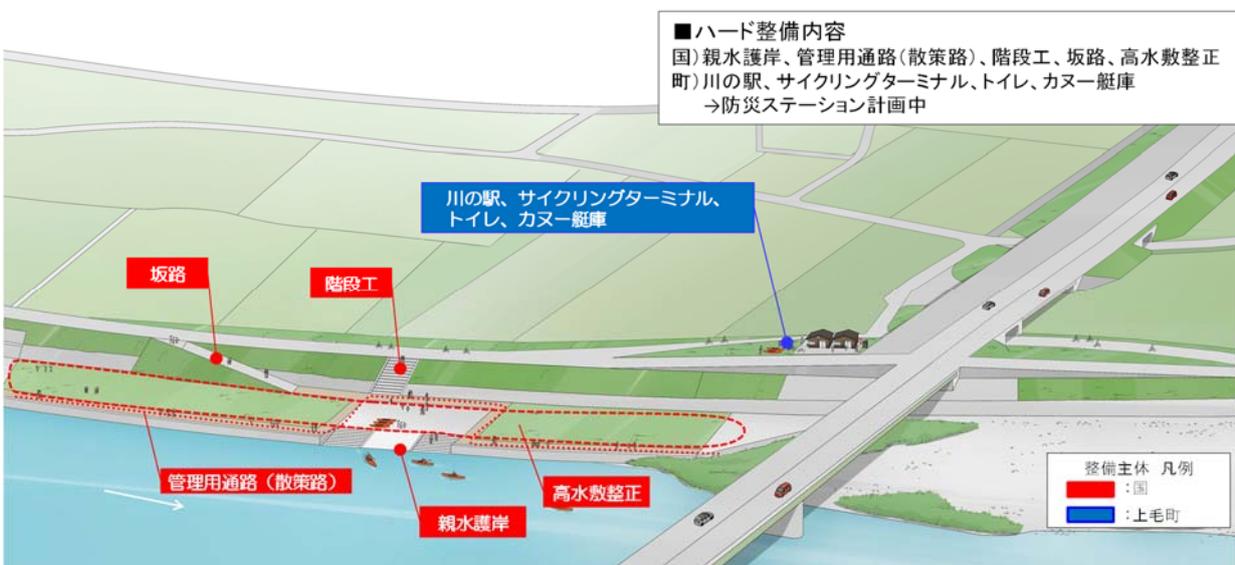
【唐原地区】

・整備箇所及び整備イメージ図

【整備箇所】



【整備イメージ（パース絵）】



水辺で乾杯

トップ 全国乾杯マップ 過去の乾杯

マイページ

その水辺から新しい風景が生まれる

気候変動対応力向上プログラム

# 水辺で 乾杯 2019

日本の水辺に新しい風景を生み出している「水辺で乾杯」も今年で5年目。楽しく、風流なプログラムで、水辺ファンもぞくぞく増加中です。そのような中、各地で豪雨が発生し、度々「水辺が心配」となる状況もありました。今年の「水辺で乾杯」は、水辺を理解し、もっと楽しんでもらうために、「パーソナル気候変動対応力」の向上も願いながら開催します。

7月5日(金)・6日(土)・7日(日)・8日(月) 午後7時7分  
全国一斉同時乾杯

〈※今年7月5日(金)～7月8日(月)から、お天気やご都合にあわせて開催してネ。〉



STARRY  
NIGHT  
COMPANY